



愛媛県報

発行 愛媛県

令和6年2月27日火曜日 第487号

◇ 目 次 ◇ 告 示

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第5条第1項及び第5項並びに第7条第1項から第3項までの規定による公衆の閲覧に供する方法の一部改正.....（行革分権課）.....76

救急病院の協力申出.....（医療対策課）.....76

瀬戸内海環境保全特別措置法第5条による特定施設の設置の許可申請の概要.....（東予地方局環境保全課）.....76

瀬戸内海環境保全特別措置法第8条による特定施設の構造等の変更の許可申請の概要.....（ " ）.....81

土地改良区役員の就退任の届出.....（中予地方局農村整備第一課）.....82

道路の供用開始（県道肱川公園線）.....（南予地方局大洲土木事務所）.....82

医師の指定.....（福祉総合支援センター）.....82

指定医師の辞退の届出.....（ " ）.....82

公営企業告示

落札者等の告示（2件）.....（公営企業管理局総務課）.....83

この県報に掲載される入札告示、落札者等の告示及び入札公告は、WTOに基づく政府調達に関する協定の適用を受けるものである。

告 示

○愛媛県告示第132号

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第5条第1項及び第5項並びに第7条第1項から第3項までの規定による公衆の閲覧に供する方法（平成13年4月愛媛県告示第866号）の一部を次のように改正し、令和6年2月28日から施行する。

令和6年2月27日

愛媛県知事 中村時広

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正後 | 改正前 |
|--|--|
| 1・2 省略 | 1・2 省略 |
| 3 インターネットのアドレス | 3 インターネットのアドレス |
| (1) 省略 | (1) 省略 |
| (2) 入札情報公開システム <u>https://www.pref.ehime.jp/site/nyusatsu/39222.html</u> | (2) 入札情報公開システム <u>https://www.pref.ehime.jp/e60100/e-bid-nyuusatsu/index.html</u> |

○愛媛県告示第133号

次の病院は、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）第1条第1項の規定による救急病院である。

令和6年2月27日

愛媛県知事 中村時広

| 名称 | 所在地 | 開設者名 | 認定の有効期限 |
|------|---------------|---------|-------------|
| 広瀬病院 | 今治市喜田村6丁目5番1号 | 医療法人陽成会 | 令和9年3月31日まで |

○愛媛県告示第134号

次のように瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号。以下「法」という。）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があった。

なお、法第5条第3項に規定する書面は、愛媛県西条保健所及び新居浜市役所において告示の日から3週間公衆の縦覧に供する。

令和6年2月27日

愛媛県西条保健所長 武方誠二

- 申請者の名称、住所及びその代表者の氏名
住友金属鉱山株式会社
東京都港区新橋5丁目11番3号
代表取締役 野崎 明

2 事業場の名称及び所在地

住友金属鉱山磯浦工場
新居浜市磯浦町17番3号

3 特定施設に関する事項

(1) 第7工場フィルタープレスNo.2

| | | |
|------------------------|--|----------------------|
| 特定施設の種 類 | 水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号。以下「政令」という。）別表第1第27号 イ ろ過施設 | |
| 特定施設の能力 | ろ過面積27平方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手5か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連 続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | な し | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度（水素指数） | 通常 10～12 最大 10～12 |
| | 化学的酸素要求量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 1 最大 3 |
| | 燐含有量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 0.1 最大 1 |
| 汚水等の1日当たりの量（単位 立方メートル） | 通常 72 最大 79 | |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(2) 第7工場フィルタープレスNo.3

| | | |
|------------------|-------------------|--|
| 特定施設の種 類 | 政令別表第1第27号 イ ろ過施設 | |
| 特定施設の能力 | ろ過面積27平方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手5か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連 続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | な し | |

| | | |
|------------------------|----------------------------|----------------------|
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度（水素指数） | 通常 10～12 最大 10～12 |
| | 化学的酸素要求量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 1 最大 3 |
| 汚水等の1日当たりの量（単位 立方メートル） | 燐含有量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 0.1 最大 1 |
| | 汚水等の1日当たりの量（単位 立方メートル） | 通常 72 最大 79 |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(3) 第7工場フィルタープレス用ウエットスクラバーNo.2

| | | |
|------------------------|----------------------------|----------------------|
| 特定施設の種 類 | 政令別表第1第27号 ル 湿式集じん施設 | |
| 特定施設の能力 | 1分間あたり120ノルマル立方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手5か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連 続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | な し | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度（水素指数） | 通常 10～12 最大 10～12 |
| | 化学的酸素要求量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 1 最大 3 |
| 汚水等の1日当たりの量（単位 立方メートル） | 燐含有量（単位 1リットルにつきミリグラム） | 通常 0.1 最大 1 |
| | 汚水等の1日当たりの量（単位 立方メートル） | 通常 5 最大 6 |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(4) 第7工場STD用ウエットスクラバー

| | | |
|------------------------|---------------------------|----------------------|
| 特定施設の種類 | 政令別表第1第27号 ル 湿式集じん施設 | |
| 特定施設の能力 | 1分間あたり23ノルマル立方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手5か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 10~12 最大 10~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1 最大 3 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1 最大 1 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 3 最大 4 | |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(5) 第7工場混合装置用ウエットスクラバーNo.2

| | | |
|------------------------|---------------------------|----------------------|
| 特定施設の種類 | 政令別表第1第27号 ル 湿式集じん施設 | |
| 特定施設の能力 | 1分間あたり23ノルマル立方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手5か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 10~12 最大 10~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1 最大 3 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1 最大 1 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 3 最大 4 | |

| | | |
|------------------------|------------------------|----------------|
| 値 | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1 最大 3 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1 最大 1 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | | 通常 3 最大 4 |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(6) 電池研究所フィルタープレスNo.3

| | | |
|------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 特定施設の種類 | 政令別表第1第27号 イ ろ過施設 | |
| 特定施設の能力 | ろ過面積8.96平方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手6か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 11~12 最大 11~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 7.7 最大 14.0 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 50 最大 100 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 9.200 最大 11.000 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.6 最大 1.6 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 7 最大 11 | |

備考 アンモニア回収施設で処理後、No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(7) 電池研究所第2開発棟フィルタープレス

| | | |
|------------|-------------------|--|
| 特定施設の種類 | 政令別表第1第27号 イ ろ過施設 | |
| 特定施設の能力 | ろ過面積5.38平方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |

| | | |
|------------------------|---------------------------|----------------------|
| 工事の完成予定年月日 | 着手8か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 10~12 最大 10~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1 最大 3 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1 最大 1 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 4 最大 5 | |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(8) 電池研究所第2開発棟スクラバー

| | | |
|-----------------------|---------------------------|----------------------|
| 特定施設の種別 | 政令別表第1第27号 ル 湿式集じん施設 | |
| 特定施設の能力 | 1分間あたり20ノルマル立方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手8か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 10~12 最大 10~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1.5 最大 3.5 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 10 最大 20 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1 最大 3 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1 最大 1 |

| | |
|------------------------|----------------|
| 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1 最大 1 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 1 最大 2 |

備考 No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(9) 電池研究所B o C r o s s フィルターNo.1

| | | |
|------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 特定施設の種別 | 政令別表第1第27号 イ ろ過施設 | |
| 特定施設の能力 | ろ過面積0.13平方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手6か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 11~12 最大 11~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 7.7 最大 14.0 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 50 最大 100 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 9,200 最大 11,000 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.6 最大 1.6 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 1.5 最大 2 | |

備考 アンモニア回収施設で処理後、No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

(10) 電池研究所B o C r o s s フィルターNo.2

| | | |
|-------------|-------------------|--|
| 特定施設の種別 | 政令別表第1第27号 イ ろ過施設 | |
| 特定施設の能力 | ろ過面積0.13平方メートル処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手6か月後 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成の翌日 | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |

| | | |
|------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 11~12 最大 11~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 7.7 最大 14.0 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 50 最大 100 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 9,200 最大 11,000 |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.6 最大 1.6 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 1.5 最大 2 | |

備考 アンモニア回収施設で処理後、No.1 汚水処理施設で処理し放流する。

4 汚水等の処理施設に関する事項

(1) No.1 汚水処理施設

| | | | |
|--|-----------------------------|--------------------|--------------------------|
| 設置年月日 | 平成13年5月15日 | | |
| 処理施設の種別及び型式 | 物理化学的処理 | | |
| 処理施設の構造 | SUS、SS、FRP、ポリエチレン及びポリプロピレン製 | | |
| 処理施設の主要寸法 | 縦77メートル 横55メートル 高さ8メートル | | |
| 処理施設の能力 | 1日当たり6,480立方メートル処理 | | |
| 汚水等の処理の方式 | 中和方式及び凝集方式 | | |
| 処理施設の使用時間間隔 | 連続 | | |
| 処理施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | |
| 処理施設の使用の季節的変動の概要 | なし | | |
| 処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 汚染状態の 値 | 項目 | 処理前 | 処理後 |
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 1~12 最大 1~12 | 通常 5.8~8.6 最大 5.8~8.6 |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 9.3 最大 14.1 | 通常 9.3 最大 14.1 |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 70 最大 100 | 通常 20 最大 30 |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 13.0 最大 51.7 | 通常 13.0 最大 51.7 |

| | | | | |
|------------------------|----|-------|----|-------|
| 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 | 0.30 | 通常 | 0.30 |
| | 最大 | 1.18 | 最大 | 1.18 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 | 4,796 | 通常 | 4,796 |
| | 最大 | 6,125 | 最大 | 6,125 |

備考 処理水は特定排水以外の排水と合流させ、No.1 工場排水口より岩鍋川に排出する。

(2) No.4 汚水処理施設

| | | | | |
|--|---|----------------------|--------------------|-----|
| 設置年月日 | 平成13年5月15日 | | | |
| 処理施設の種別及び型式 | 物理化学的処理 | | | |
| 処理施設の構造 | SUS、SS、FRP、ポリエチレン及びポリプロピレン製 | | | |
| 処理施設の主要寸法 | 縦26メートル 横15メートル 深さ5メートル 縦32メートル 横25メートル 深さ14メートル | | | |
| 処理施設の能力 | 1日当たり1,550立方メートル処理 | | | |
| 汚水等の処理の方式 | 蒸留方式、酸化方式及び電気分解方式 | | | |
| 処理施設の使用時間間隔 | 連続 | | | |
| 処理施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | | |
| 処理施設の使用の季節的変動の概要 | なし | | | |
| 処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 汚染状態の 値 | 項目 | 処理前 | 処理後 | |
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 5~11 最大 5~11 | 通常 9~12 最大 9~12 | |
| | 化学的酸素要求量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 1,600 最大 2,000 | 通常 80 最大 110 | |
| | 浮遊物質(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 7 最大 10 | 通常 7 最大 10 | |
| | 窒素含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 5,400 最大 6,480 | 通常 30 最大 37 | |
| | 炭含有量(単位1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.2 最大 1 | 通常 0.2 最大 1 | |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 | 260 | 通常 | 260 |
| | 最大 | 315 | 最大 | 315 |

備考 処理水は、No.1 汚水処理施設へ排水する。

(3) アンモニア回収施設

| | | | |
|-------------|-----------------------------|--|--|
| 設置年月日 | 平成13年5月15日 | | |
| 処理施設の種別及び型式 | 物理化学的処理 | | |
| 処理施設の構造 | SUS、SS、FRP、ポリエチレン及びポリプロピレン製 | | |

| | | | |
|----------------------------|--------------------------------|-----------------------|----------------------|
| 処理施設の主要寸法 | 縦 44メートル 横 46メートル 深さ 21メートル | | |
| 処理施設の能力 | 1日当たり2,040立方メートル処理 | | |
| 汚水等の処理の方式 | pH調整方式及び蒸留方式 | | |
| 処理施設の使用時間間隔 | 連 続 | | |
| 処理施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | |
| 処理施設の使用の季節的変動の概要 | な し | | |
| 処理施設による処理前及び処理後の汚水等の汚染状態の値 | 項 目 | 処 理 前 | 処 理 後 |
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 11~12 最大 11~12 | 通常 11~12 最大 11~12 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 7.7 最大 14.0 | 通常 7.7 最大 14.0 |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 50 最大 100 | 通常 23 最大 50 |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 9,200 最大 11,000 | 通常 11.6 最大 120 |
| | 燐含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.6 最大 1.6 | 通常 0.6 最大 1.6 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 通常 1,630 最大 2,005 | 通常 1,630 最大 2,005 | |

備考 処理水は、No.1 汚水処理施設へ排水する。

5 事業場から排出される汚水等の汚染状態の通常の値及び最大の値並びに汚水等の1日当たりの量

(1) No.1 工場排水口

| | | |
|------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 5.8~8.6 最大 5.8~8.6 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 6.9 最大 9.9 |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 12 最大 15 |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 9.5 最大 32.2 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | 燐含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.26 最大 1.15 |
| | | 通常 7,000 最大 9,150 |

備考 この他に、雨水排水口が2箇所ある。

○愛媛県告示第135号

次のように瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和48年法律第110号。以下「法」という。)第8条第1項の規定に基づく特定施設の構造等の変更の許可の申請があった。

なお、法第8条第3項において準用する法第5条第3項に規定する書面は、愛媛県西条保健所及び新居浜市役所において告示の日から3週間公衆の縦覧に供する。

令和6年2月27日

愛媛県西条保健所長 武 方 誠 二

- 申請者の名称、住所及びその代表者の氏名
住友金属鉱山株式会社
東京都港区新橋5丁目11番3号
代表取締役 野崎 明
- 事業場の名称及び所在地
住友金属鉱山磯浦工場
新居浜市磯浦町17番3号
- 特定施設の種類
水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第1第27号イ、ヌ、ル 62号イ、ホ
- 変更しようとする事項の内容
汚水等の処理の方法、排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む)及び排出水の量(排水系統別の量を含む)
- 汚水等の処理施設に関する事項
(1) No.1 汚水処理施設

| | | 変 更 前 | | 変 更 後 | |
|------------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 処理施設に | 項 目 | 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 |
| よる処理前及び処理後の汚水等の | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 9.4 最大 14.1 | 通常 9.4 最大 14.1 | 通常 9.3 最大 14.1 | 通常 9.3 最大 14.1 |
| | | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 13.4 最大 51.7 | 通常 13.4 最大 51.7 | 通常 13.0 最大 51.7 |
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | | 通常 4,726 最大 5,931 | 通常 4,726 最大 5,931 | 通常 4,796 最大 6,125 | 通常 4,796 最大 6,125 |

(2) No.4 汚水処理施設

変更なし。

(3) アンモニア回収施設

| | | 変 更 前 | | 変 更 後 | |
|------------------------|--|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 汚水等の1日当たりの量(単位 立方メートル) | | 通常 1,620 最大 1,990 | 通常 1,620 最大 1,990 | 通常 1,630 最大 2,005 | 通常 1,630 最大 2,005 |

6 事業場から排出される汚水等の汚染状態の通常の値及び最大の値並びに汚水等の1日当たりの量

No.1 工場排水口

| 汚水等の汚染状態の値 | 項 目 | 変 更 前 | 変 更 後 |
|------------|---------------|--------------------------|--------------------------|
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 5.8~8.6 最大 5.8~8.6 | 通常 5.8~8.6 最大 5.8~8.6 |

| | | | | |
|---------------------------------------|----|-------|----|-------|
| 化学的酸素 要求量(単位 1リットルにつき ミリグラム) | 通常 | 6.7 | 通常 | 6.9 |
| | 最大 | 9.9 | 最大 | 9.9 |
| | 通常 | 12 | 通常 | 12 |
| | 最大 | 15 | 最大 | 15 |
| 浮遊物質 量(単位 1リットルにつき ミリグラム) | 通常 | 12 | 通常 | 12 |
| | 最大 | 15 | 最大 | 15 |
| 窒素含有 量(単位 1リットルにつき ミリグラム) | 通常 | 9.3 | 通常 | 9.5 |
| | 最大 | 32.2 | 最大 | 32.2 |
| 燃含有 量(単位 1リットルにつき ミリグラム) | 通常 | 0.25 | 通常 | 0.26 |
| | 最大 | 1.15 | 最大 | 1.15 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 | 7,296 | 通常 | 7,000 |
| | 最大 | 9,751 | 最大 | 9,150 |

○愛媛県告示第136号

土地改良法(昭和24年法律第195号)第18条第17項の規定により、東温市志津川土地改良区から次のとおり役員が退任した旨の届出があった。

令和6年2月27日

愛媛県中予地方局長 馬 越 祐 希

退 任

| 役員の種類 | 氏 名 | 住 所 |
|-------|-----------|--------------|
| 理 事 | 田 村 千 恵 子 | 東温市志津川1573番地 |

○愛媛県告示第137号

道路法(昭和27年法律第180号)第18条第2項の規定に基づき、道路の供用を次のように開始する。

その関係図面は、南予地方局大洲土木事務所において告示の日から2週間一般の縦覧に供する。

令和6年2月27日

愛媛県知事 中 村 時 広

| 道路の種類 | 路 線 名 | 供 用 開 始 の 区 間 | 供用開始の日 |
|-------|-------|-----------------------------------|-----------|
| 県 道 | 肱川公園線 | 大洲市肱川町山鳥坂297番2から 同町山鳥坂586番12まで | 令和6年2月29日 |

○愛媛県告示第138号

身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第1項の規定により、次のように医師の指定をした。

令和6年2月27日

愛媛県知事 中 村 時 広

| 診断する身体障害の種類 | 診療科名 | 病 院 又 は 診療所の名称 | 医 師 氏 名 | 同 左 所 在 地 | 指定年月日 |
|-------------------------------------|-----------|--------------------|-----------|----------------|----------|
| 肢体不自由、心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう又は直腸・小腸・肝臓機能障害 | 外 科 | 小澤外科循環器科医院 | 長 橋 り え | 今治市馬越町四丁目3番10号 | 令和6年2月1日 |
| 肢 体 不 自 由 | 整 形 外 科 | 市立宇和島病院 | 松 澤 良 | 宇和島市御殿町1番1号 | 令和6年2月1日 |
| 心 臓 機 能 障 害 | 循 環 器 内 科 | 社会医療法人石川記念会HIITO病院 | 櫃 本 竜 郎 | 四国中央市上分町788番地1 | 令和6年2月1日 |
| 聴覚障害、平衡・音声・言語・そしゃく機能障害 | 耳 鼻 咽 喉 科 | 社会医療法人石川記念会HIITO病院 | 藤 原 拓 矢 | 四国中央市上分町788番地1 | 令和6年2月1日 |
| 聴 覚 障 害 | 耳 鼻 咽 喉 科 | 愛媛県立今治病院 | 川 元 日 向 子 | 今治市石井町四丁目5番5号 | 令和6年2月1日 |

○愛媛県告示第139号

身体障害者福祉法施行令(昭和25年政令第78号)第3条第2項の規定により、次のように指定医師の辞退の届出があった。

令和6年2月27日

愛媛県知事 中 村 時 広

| 診断した身体障害の種類 | 診療科名 | 病 院 又 は 診療所の名称 | 医 師 氏 名 | 同 左 所 在 地 | 届出年月日 |
|------------------|---------|-------------------|---------|----------------|----------|
| 心臓・じん臓・呼吸器機能障害 | 内 科 | 重見内科医院 | 重 見 雅 博 | 今治市国分三丁目13番45号 | 令和6年1月4日 |
| じん臓・ぼうこう又は直腸機能障害 | 泌 尿 器 科 | 国立大学法人愛媛大学医学部附属病院 | 角 田 俊 雄 | 東温市志津川 | 令和6年1月9日 |

| | | | | | |
|------------------|-----------|----------------|---------|-----------------|-----------|
| 肢 体 不 自 由 | 整 形 外 科 | 公立学校共済組合四国中央病院 | 寒 川 晃 顕 | 四国中央市川之江町2233番地 | 令和6年1月9日 |
| 肢体不自由、心臓・呼吸器機能障害 | 内 科 ・ 外 科 | 小澤外科循環器科医院 | 小 澤 正 澄 | 今治市馬越町四丁目3番10号 | 令和6年1月16日 |

公営企業告示

○愛媛県公営企業告示第1号

次のとおり落札者を決定した。

令和6年2月27日

愛媛県立中央病院長

中 西 徳 彦

| 落札に係る物品等の名称及び数量 | 契約に関する事務を担当する機関の名称及び所在地 | 落札者を決定した日 | 落札者の氏名及び住所 | 落札金額 | 契約の相手方を決定した手続 | 入札公告日 |
|--------------------------------|---------------------------|-----------|---|-----------------|---------------|------------|
| 夜間看護補助派遣業務派遣労働者1名における1時間あたりの単価 | 愛媛県立中央病院 愛媛県松山市春日町83番地 | 令和6年2月9日 | 株式会社ルフト・メディカルケア松山オフィス 松山市千舟町4-6-1 松山フコク生命ビル4F | 2,343円 (1時間) | 一般競争入札 | 令和5年12月22日 |

○愛媛県公営企業告示第2号

次のとおり落札者を決定した。

令和6年2月27日

愛媛県立中央病院長

中 西 徳 彦

| 落札に係る物品等の名称及び数量 | 契約に関する事務を担当する機関の名称及び所在地 | 落札者を決定した日 | 落札者の氏名及び住所 | 落札金額 | 契約の相手方を決定した手続 | 入札公告日 |
|---------------------------------|---------------------------|-----------|---|-----------------|---------------|------------|
| 看護長事務補助派遣業務派遣労働者1名における1時間あたりの単価 | 愛媛県立中央病院 愛媛県松山市春日町83番地 | 令和6年2月9日 | 株式会社ルフト・メディカルケア松山オフィス 松山市千舟町4-6-1 松山フコク生命ビル4F | 1,925円 (1時間) | 一般競争入札 | 令和5年12月22日 |